

2022年2月7日

## 論文等の早期一般公開について

現在、学会誌に掲載された論文等については、原則として刊行後1年間は公開が学会員のみ限定されており、その後、一般に公開されている。しかしながら、政策提言を含む論文等については、学会員のみならず迅速に関係当局等に公開されることが望ましい場合もある。

このため、編集委員会は、編集委員からの提案に基づき、執筆者の了解の下、特定の論文等について刊行後1年を待たずに一般に公開することができる。

(参考) 刊行後1年を待たずに一般公開することが適切と考えられる論文等の例

- ・ 検討中・審議中の政策に関連する特集論文
- ・ ビジネスレポート、ポリシーレポート又は海外レポート